

[CASE 04]

ほりごめ ひなき 堀米 ひな姫さん

河北町消防団本部(女性消防団)

もしもの時に 率先して動ける人に



自 分自身を率先して動くタイプと分析する堀米さんは、救急救命の知識を身に付けたいという思いをきっかけに消防団に入団しました。

「もし災害が起こった時に助けを求めている人がいても、何も知識がないとただ見ているだけになってしまいます。もしそんな出来事があったら絶対に後悔すると思い、いざという時に率先して人を助けられるようになるため入団を決意しました」

さらに、活動を続けるうちに、入団前と比べ自分の意識が大きく変わったと言います。

「自分が誰かを助ける力を持つだけでなく、他の人にその術を教えたいと思うようになりました。そのために応急手当指導員の資格取得に向けて、積極的に取り組んでいます。誰かが怪我をした時に正しく処理ができる。身近な部分から変わりつつ、すぐ動ける消防団員を目指していきたいです」

いざという時に率先して動けるよう、努力を重ねる堀米さん。これからも安心して暮らせる町づくりに貢献を続けていきます。

Q1 やりがいはどんな時に感じますか？

入団前より地域の人と関わりが増えたと感じた時です。これまでは仕事以外で人と関わる機会があまりありませんでしたが、入団後はさまざまな世代の方と消防団活動の中でお話ができ、イベントでも今まで関わったことなかった人と交流ができるので充実しています。



Q2 入団して良かったと思うのはどんな時ですか？

他の消防団員の方とお話することで、今まで経験してこなかったことや、考えつかなかったことを教えてもらえる時です。新しい気付きを得られるうえに、スキルアップのモチベーション向上と仲間同士の成長につながっていると思います。



技術を身に付けながら地域の人と関われますよ。
興味がわいたらぜひ一緒に活動しましょう！



1

2

3

1.女性消防団の方のお話は勉強になることが多いです
2.防災訓練での集合写真
3.消防パレードの様子。大人も子どもも盛り上がります